



第11回

伊万里梅まつり

息ぴったりの演奏で会場を魅了した大川内保育園児によるこども太鼓



スタッフも真剣！みんなが笑顔になった梅の種とばし大会



梅干しづくりの学習を元気いっぱい発表する児童



ドンドンしながらのもちつき。おいしくできたかな

2月23日、木須町の伊万里梅園藤ノ尾で伊万里梅まつりが開催されました。これは、西九州一の広さを誇る梅産地をPRし、多くの人に梅を身近な食材として感じてもらうと、JA伊万里が開催しているもので、今回で11回目です。

快晴となったこの日、春を告げる梅の花の香り漂う園内では、梅うどんや梅ごはんなど梅を使った軽食や地元農産物の販売のほか、梅の種とばし大会やもちつき、小学生による梅の学習発表、園児による太鼓の演奏など多彩な催しが行われ、市内外から訪れた多くの人たちでにぎわいました。

伊万里梅園藤ノ尾は、約23畝の広大な敷地に南高、古城、小梅など約6500本の梅が栽培されています。来園者は、早春の日差しを浴びて咲き誇る白や紅色の花を満喫し、一足早い春の訪れを楽しんでいました。



思わず梅の枝に手を伸ばす赤ちゃん。この日は多くの家族連れが梅の花を楽しみました。

編集室から

今月は、食のまちづくりの特集をしました。言うまでもなく、食べることは私たちの生命を維持するうえで欠かせませんが、まちづくりにおいても「食」は、各施策を行ううえで欠かせないものだとわかってきました。さて、「食」と言えば、伊万里の食のまちづくりの牽引役として、市民の健康を願い、地元の良い食材を使ったおいしい料理を提供していただいた『伊万里・食と農を考える会』による『ふるさと葉膳「旬」』（伊万里まちなか一番館内）が、この春閉店されました。ただおいしいというだけではなく、食材にも気を配り、心のこもった、「体に優しい味」の料理は、私も大好きで、ファンの一人としてさみしい気がします。しかし、彼女たちの食に対する考え方や思いは、それをしていただいた私たちにしっかりと伝わっていると思いますし、「食」本来の大切さも教えてくれました。本当に長い間おつかれさまでした。そして、おいしい料理ありがとうございました。（令）



人のうごき

平成 26 年 3 月 1 日 現在

●人口	57,303 人	(- 10)
男	27,402 人	(- 15)
女	29,901 人	(+ 5)
●世帯	22,594 世帯	(+ 16)
	()	は前月比

広報 伊万里 2014-4

■発行日／平成 26 年 4 月 1 日
 ■発行編集／伊万里市情報広報課広報係
 (0955)23-4313 (ダイヤルイン)
 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町 1355 番地 1
 ■伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
 ■印刷／山口印刷株式会社